

2013年度の英語実習における新しい試み

英語教育部

渡辺雅仁

2007年4月に専任教員として着任以来、満8年を迎えようとしています。いまだに授業に不安を抱えて臨んでいます。最大の悩みは「学生を眠らせない」ということです。学力の高い学生はいるものの、少しでも単調な授業を行うと学生は緊張感を失ってしまいます。同じように授業を展開しても、学部によって反応は大きく異なります。自分なりの工夫は続けているものの、限界を感じることもあります。本稿では、今年度、自分が行った授業における工夫の中から、「シラバスの共有」と「授業内での協同学習」についてまとめてみます。

シラバスの共有—他の教員が作成したシラバスを使用する

同僚の英語教育部の満尾先生は、英語実習 2LR について精力的な活動をされています。先生は、英字新聞 Japan Times を利用した読解の授業を長年にわたって展開され、そのシラバスも公開されています。今年度、春学期に、同科目を担当することになり、満尾先生にお願いして、満尾先生のシラバスに沿って授業を展開することにしました。

毎週火曜日の授業では、翌日に発刊される、水曜日の Japan Times を購入し、次の授業まで読みこなしてくることを課題としました。駅の売店での購入を義務付けましたが、40人弱の生徒が履修するクラスなので、売り切れになったり、近くに駅がないため購入できなかったりする学生が出てきました。大学生協にお願いし、水曜日の新聞を、翌週の火曜日まで、売店で販売してもらうようにしました。

翌週の授業まで次の2つの課題を行います：

課題①：JT（授業翌日に刊行される水曜日のもの）から記事を1つ選び、その内容のサマリーとコメントを英語で書いてくる。B5もしくはA4のルーズリーフ ノート見開き左側の1ページを利用する。右側はあけておく。ここにはクラスメートのコメントが入る。

課題②：自分で、ウェブ等を利用してエッセイやニュースを1つ選び、口頭（英語）でクラスメートに伝えられるように準備してくる。選んだ英文はプリントアウト

トして、B5 ノート(同じB5 もしくはA4 のルーズリーフ ノートの反対側から始める)の見開き左側に貼付する。見開き右側に、key words やマインドマップ等、口頭で伝えるときに参考にするもの[メモ]を書きこむ。

この毎週のノート作成は「ジャーナル」と呼ばれる活動です。このジャーナルをもとに、以下のような活動を授業で展開します：

- ① (クラス一斉) 5分以内にクラスメートのジャーナルを読み、英語でコメントを書き加える。5分後にノートを換えてコメント作成を行う。1回の授業で合計3人のクラスメートのジャーナルにコメント作成する。
- ② (ペア) 予め選んで読んできたウェブ上の記事の内容をペアの相手に英語で伝える(メモは参照可)。2分間
- ③ (ペア) 教員が選んだ記事を3分間で速読し、その内容をペアの相手に1分間で英語で伝える。
- ④ (個人活動) 教員が用意した worksheet の課題に答えるように新聞を読む。
- ⑤ worksheet の提出。

衝撃的だったのは、①のコメント活動です。クラスメートが書いてきた新聞記事のサマリーを読み、コメント作成する活動は、5分間で3回転分、教員はタイマーを見ながら学生の活動を見守ります。今までは、どこかで、「授業なのだから何か喋らなければ」と駆り立てられていました。それだけに、静かに見守るだけの時間は、新鮮な驚きがありました。実際、学生は渡されたジャーナルをもとに静かに学習を続けています。

④の活動は以下のような予め教員が作成した記述式のワークシートを基に行います。ワークシートは単に個人が解答する小テストとは異なり、英語で意見を書いた後、グループで討論する設問も用意します。

JT (April 17)

4. [p. 1] Taiji dolphin cull inhumane: study ①太地町の古式イルカ漁について、日本側の主張について西洋の科学者はどのような指摘をしていますか。②この問題について、自分なりの意見を英語[50語程度]でまとめなさい。配布された和歌山県の見解についても参考にする。16:00より、意見交換します。

5. [p. 2] Tokyo bookstore boast roof apiary: 東京の書店で養蜂を行うことでどのようなメリットがありますか。[英語]

6. [p. 6] World has 165 million 'stunted' children: U.N.: ①stunted childrenとはどういった病状の子供のことですか。この病気の原因は何ですか。②この問題を解決するにはどうすればよいですか。[英語]

授業開始当初は、英字新聞の読み込みに慣れていなかったため、設問の作り方に苦労していましたが、毎週、満尾先生からワークシート作成例をメール送信していただき、部分的に使用させていただきました。新しさが命の新聞なので、前年度の教材研究を使いまわすことはできないものの、同僚の先生の支援も得て、無理なく新しい学習活動が展開できました。

授業内での協同活動—グループワークシートの活用

春学期の英語実習 2LR における、教員の「見守り」による学習活動にヒントを得て、秋学期の英語実習 1LR では、3～5人のグループで、1つのワークシートを完成させる、グループワークシートを利用した授業を展開しました。以下は、ワークシートの一部です。教科書に記載されている内容について解答するものです：

Unit 28 グループ ワークシート 提出用 裏面にグループの学籍番号と氏名を記入する
Unit 28 Skill 解説
p. 145
1. 可算名詞/不可算名詞とは何ですか？(教科書より)

名詞	形の上での特徴 日	意味の上での特徴 日	例 英
可算名詞			
不可算名詞			

似たような意味を持ちながら、可算名詞と不可算名詞のように異なる例文を抜き出す(参考資料より)

可算名詞 英	不可算名詞 英

2. indefinite と definite はどのように異なりますか？(教科書より)

不定冠詞	後に来る名詞 英
a	
an	

冠詞	種類	後に来る名詞 英	意味の上での特徴 日
indefinite article	a/an		
definite article	the		

グループワークシートは学習グループごとに完成させて提出します。提出後に答えあわせを行います。グループ活動中にいくつかの質問に答えているので、答え合わせは簡潔に短時間で終わらせることができます。授業後にワークシートを採点し、グループのメンバー全員に同じ得点を平常点として与えます。グループごとに1つのワークシートを提出するので、1人ずつ小テストのプリントを配布するより、採点にかかる時間が節約できます。

ワークシート作成にグループ活動を取り入れることで、教員の説明を一方向的に聞くだけでなく、自分が理解していることをグループ内の他のメンバーに教えたり、他のメンバーの考えを聞いて自分の知らないことを学んだりする、協同学習が生まれます。グループ活動が行われている間、適宜、グループからの発せられた質問に対し、口頭で回答します。一斉授業よりも多くの質問が学生から発せられます。

まとめ

学生による主体的な学習—アクティブラーニング—は、画一的な講義による学習では得られない学びを学生に提供します。満尾先生が作成したシラバスを自分なりに使うことがきっかけとなり、ジャーナルやグループ活動を用いた、新しい授業の形について自分なりに学ぶことができました。今回の試みを通じて、指導上の問題点もいくつか浮かび上がってきました。

1. ペアやグループ活動は学生の主体的な学習活動を進める有効な手段です。しかし、授業の回を重ねるごとに、ペアやグループを作る学生が固定化し、一部の学生のみワークシート作成を行い、他の学生が参加しない事例が目立ってきました。また、欠席や遅刻の多い1時限目の授業では、等しい人数でグループを作ることが難しくなります。この問題を解消するため、以下のような氏名が記入されていない座席表を作成し、授業ごとに座席を指定して着席させました。毎週、学習を行うペアやグループが変わるため、適度な緊張感を維持して学習に取り組んでいました。

5						
	28	29	30	31	32	33
	4					
	19	20	21	22	23	24
	3					
	10	11	12	13	14	15
2						
	1	2	3	4	5	6
1	着席しない			着席しない		
LRn4 水曜日1時限 7-309				教壇		

2. 英字新聞の記事についてペア間で発表させる活動において、ともすると、ジャーナルに書き留めた記事の要約を読み上げるだけの活動になってしまいがちでした。メモやマインドマップの作り方とともに、短い準備期間で、フランクな会話をどのように行うのか、教員がモデルを見せたり、学生に練習させたりする、活動が全般的に不足していました。
3. 自分が読んだ英文記事は、自分のことばで読み手に分かりやすく要約を作成することを求めました。実際には、本文中の記事が書き写されるケースが大半で、要約の技術の向上には至っていませんでした。要約について、適宜、添削指導する必要性も感じました。

新しい試みにはリスクは付き物です。それでも、今年度は、上のように、シラバスと具体的な指導法や教材を共有することで、これまでの自分の指導上の「型」を部分的に破ることができました。